

表現豊かな力作たたえ

本社・風の森 県幼児画 180人笑顔

県幼児画コンクール特別賞の賞状を受け取る園児ら＝27日、福井新聞社・風の森ホール



第40回県幼児画コンクール(福井新聞社主催)の表彰式が27日、福井新聞社13保育園・幼稚園と

県中学生新聞 30人表彰

第16回県中学生郷土新聞コンクール(県中学校教育研究会社会科部会、福井新聞社主催)の表彰式が27日、福井新聞社・風の森ホールで行われた。知事賞の村上舞さん(福大附1年)ら、ふるさと賞以上の30人に表彰状が手渡された。

地域の良さを感じてもらえたと思う」と郷土新聞づくりの意義を語った。各受賞者に対し表彰状とトロフィーなどが贈られた。県中学校教育研究会社会科部会長の徳島泰彦・大東中学校長は「身近な素材を取り扱い、しっかり自分の考えが盛り込まれている。1枚の紙面に思いがちりばめられている力作ぞろいだ」と講評した。

ホームページに
動画「ニュース」
www.fukushinbun.co.jp



知事賞を受賞し賞状を受け取る村上舞さん＝27日、福井新聞社・風の森ホール

3、4、5歳児の各クラスで特別賞、花賞となった180人が表彰された。式では、同社の伊藤嘉伸事業局長が「伸び伸びと元気よく描けていました」と入賞者をたたえた。続いて園児一人一人に賞状と盾を手渡した。子どもらは緊張した面持ちで壇上に立っていたが、賞状を受け取るにつれこりと笑顔を見せていた。

コンクールには県内186の幼稚園・保育園などから9249点の作品が寄せられた。特別賞、花賞、秀作、佳作に1888点が選ばれた。秀作以上の476点は30日まで、福井市のエルパで展示されている。